

紫電改がやって来た

合田儀正（当時、西条市在住、13歳の時の話）

私の故郷は、現在の愛媛県西条市です。戦中の故郷には、海軍航空隊・乗員養成所・小松飛行場がありました。毎日、2葉（複葉機）の赤トンボの練習機が高度 200～300m で着地侵入する航路の屋敷から乗員のゴーグル顔面を眺めていました。

或る日、練習機が皆無の時刻、紫電改が飛行場に着陸する勇姿を見ました。その夜、父が帰宅し、「今日、紫電改が来たぞ！」と言いました（父は練習基地で国語教師であった）。13歳の私には忘れ得ないシーンであり、焼き付いています。